

心と会場を揺るがした歌声!

感動に包まれた1日

翌 檜 新聞



志 寛 録

第9号
2019.8.21
第73代
伊敷中生徒会



音楽コンクール

7月12日(金)に音楽コンクールが行われました。今年もホール内には、伊敷中の美しい歌声が響き渡っていました。

音楽コンクールに向けては、どのクラスも工夫した

練習をしていたことと思います。

一年生にとっては初めて立つ舞台。緊張や不安の気持ちも大きかったと思います。しかし、それを感じさせない元気いっぱい合唱でした。

二年生は昨年よりもレベルアップした素晴らしい合

唱でした。歌う姿も聴く姿も後輩の手下になっていたと思います。

三年生にとっては、最後の音楽コンクール。そのため、一、二年生の頃よりも「最優秀賞を取りたい」という想いが強かったと思います。その熱い思いが合唱に表れていて聴いている人たちを感動させていました。閉会式では、審査をしてくださった鹿児島市教育委員会の帖地先生から、「とても素晴らしい合唱だった。」と講評をいただきました。そして、各学年の最優秀賞と優秀賞のクラスが発表されました。結果も大事ですが、一番大事なことはクラスみんなが一つの目標に向かって一緒に活動したということだと思います。本番に向け、

クラスがまとまらなかったり、ぶつかったりすることもあると思います。しかし、それらを乗り越えて、本番では素晴らしい合唱を披露することができたのではないのでしょうか。音楽コンクールを通して



明るい表情で歌う二年生

深まったクラスの絆を大切に、これからの学校生活の行事の中で生かしていきたいでしょう。

(吉屋里紅・入来夏風・吉住月那)



精一杯歌う三年生



一生懸命指揮をする一年生



結果発表を待つ三年生



表彰式の様子

みなさんは「同心協力」という言葉を知っていますか。同心協力とは「心を一つにし、協力し合い、みんなで団結して事にあたること」という意味です。

みなさんのクラスは「同心協力」ができていますか。それぞれのクラスでは「同心」みんなが心を一つにして目指すものとして「学級目標」があります。学級目標の達成を目指して、みんなで協力し合い、団結することで、クラスという集団が仲間になるのだと思います。

また一学期は音楽コンクールがありました。音楽コンクールでは最優秀賞を目指して「同心協力」する経験をしたことでしょうか。二期は体育大会があります。体育大会でもこの「同心協力」することが大切になってきます。クラス対抗の種目ではクラスの「同心協力」、各団対抗の種目では、各団の「同心協力」が必要です。こう考えると学校生活の中には「同心協力」する場面がたくさんあります。そういう場面でみなさんはどのような行動をとっていますか。自分は「同心協力」するための行動をとっているのか、振り返ってみて、二期もいい集団作りのために頑張ってくださいませ。

(田中樹菜)

互いの思いを伝え合おう

学年弁論大会

6月17日(月)、学年弁論大会が行われました。今年も、各学級の弁論大会を経て選出された代表弁士の皆さんがそれぞれの思いを伝えました。

三年生の学年弁論大会で見事優秀賞に輝いた、三年七組の倉前幸平さんにインタビューしました。

Q 演題設定の理由は?

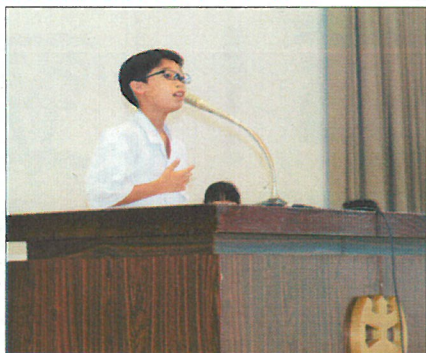
A 普段あまり親孝行ができておらず、両親に迷惑を掛けているからです。

Q 優秀賞が決まった時の気持ちは?

A 早く両親に伝えてあげたい、その思いしかありませんでした。

Q 後輩達に一言お願いします。

A 常に自分らしく、最後まで悔いの残らないように生きてください。



各学年の弁論の様子

今回の弁論大会では、皆さんはどのような思いが伝わってききましたか。日頃から、自分の思いや考えをもち、どのように表現したら人に伝わるかということを意識していくことができると思います。

また、弁論大会は、自分の意見を人に伝えるだけでなく、人の考えを聴く力を養う絶好の機会でもありません。何を伝えようとしていくかを考えながら聴くということも日頃から意識していきましょう。

(田島悠太郎)

上級学校について知る!

公立高校等説明会

6月7日(金)に公立高校等説明会が行われ、公立高校の先生方が説明に来てくださいました。

この説明会で甲南高校の説明を聞いた、三年五組の田島光琉君は「とても厳しい校風だと思っていたが、思っていたイメージと違っ

また、中央高校の説明を聞いた三年五組の徳重正夢さんは「学校行事が充実していることやボランティアが盛んなこと、生徒会活動が盛んな点に興味を湧いた。」と話していました。

また、中央高校の説明を聞いた三年五組の徳重正夢さんは「学校行事が充実していることやボランティアが盛んなこと、生徒会活動が盛んな点に興味を湧いた。」と話していました。

また、中央高校の説明を聞いた三年五組の徳重正夢さんは「学校行事が充実していることやボランティアが盛んなこと、生徒会活動が盛んな点に興味を湧いた。」と話していました。

生徒総会のその後

一人一役の充実を目指して

五月に生徒総会が行われ全体協議では「一人一役の徹底」について話し合いました。そのときに出た意見を基に学級での一人一役の活動を充実したものにしていこうか。

そこで、7月16日(火)の朝、登校中の伊敷中学生にアンケートをとりました。結果は以下のとおりです。

○自分の係の仕事に責任をもって取り組んでいますか。

○職員全員で協力して専門班活動ができていますか。



学級専門班会は一人一役の取組を振り返る絶好の場です

編集後記

今回で翌檜新聞は第9号となりました。

今回のトップ記事は音楽コンクールでした。あの感動の一日をこの紙面で表現するのはとても大変でしたが、写真やインタビューを効果的に用いることで伝えることができているのではないかと思います。

さて9月には生徒会役員選挙が行われます。ついに73代も引き継ぎの時期となり73代の翌檜新聞も残りわずかとなってしまいました。残りの号で取り上げてほしい話題などがありましたらぜひ目安箱等を通じて意見をください。

(安藤綜悟)

はい 95%
いいえ 5%

説明を聞く三年生



(宮之脇楓也)

各専門班の一人一役を確認しよう

伊敷中学生会の仕事マスター(お)!!

伊敷中の生徒総会には、役員と、8つの専門班があり、それぞれが伊敷中の運営を支えています。

生活班の仕事

① 教科連絡(社会) 授業終了後、教室は、掃除や静かにして、次の授業の準備をします。

② 教科連絡(数学) 授業終了後、教室は、掃除や静かにして、次の授業の準備をします。

③ 生活の記録点検配布 8:00までに、授業終了後、教室に貼って、学年職員室前の箱にポスト投函します。

④ 身辺点検 毎朝の朝の会と身辺点検をします。連絡簿には、AとBカードを提出し、改善事項、理由を記入し、誰が連絡簿のチェックを完了したかを報告します。(点検は、全員で行います)

⑤ 連絡簿点検 毎朝、連絡簿に連絡簿を貼ります。昇降口に貼る。7:55までに、昇降口を通過する生徒は、連絡簿を貼ります。連絡簿が多いと、昇降口の整理がスムーズに行かなくなります。